



国際協力の推進

Kibo Robot Programming Challenge (Kibo-RPC)

「きぼう」ロボットプログラミング競技会



ロボットで財宝を探し出そう!



Int-Ball2



Astrobee

第6回大会シナリオ

Time to uncover hidden treasures!

宇宙海賊IntBall1世が国際宇宙ステーション (ISS) に財宝を隠したらしい。ほかのライバルに財宝を見つげられる前に、Astrobeeを操作して財宝を探しだそう!

※上記ゲーム内容はフィクションです

主催：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
共催：アメリカ航空宇宙局 (NASA)

「きぼう」ロボットプログラミング競技会とは

「きぼう」ロボットプログラミング競技会は、ISS・「きぼう」日本実験棟にあるロボットのプログラミングをすることで様々な問題を解決する教育プログラムです。

日本だけでなく、Kibo-ABC*に加盟しているアジアの各国/地域から学生が参加する世界大会となっています。

宇宙開発やロボットプログラミングなどの工学的スキルだけでなく、チームワークやチャレンジ精神、創造的探究心を育むことを目的としています。

この競技会は、アメリカ航空宇宙局 (NASA) の協力のもと、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が開催します。

*Kibo-ABC (Asian Beneficial Collaboration through "Kibo" Utilization) は、アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) の下に作られた枠組みで、アジア太平洋地域における「きぼう」の利用を促進し、「きぼう」利用の価値を共有することを目的としています。



各国宇宙機関とのカンファレンスの様子 (APRSAF-26 in名古屋)

開発用シミュレータ

プログラム開発および地上予選のために、Web上で利用可能なシミュレータを提供しています。



過去の大会(2020年～)

第1回 2020年

第1回大会はオーストラリア、インドネシア、日本、シンガポール、台湾、タイ、アラブ首長国連邦の7つの国と地域が参加し、2020年10月にISS上で決勝大会が行われました。

第2回 2021年

第2回大会は11の国/地域が参加しました(オーストラリア、バングラデシュ、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム)。

第3回 2022年

第3回大会は、オーストラリア、バングラデシュ、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、アメリカ合衆国の12か国・地域が参加しました。

第4回 2023年

第4回大会は、オーストラリア、バングラデシュ、日本、マレーシア、ネパール、シンガポール、台湾、タイ、UAE、ベトナム、アメリカ合衆国およびUNOOSA*枠の計30か国・地域が参加しました。*国連宇宙部

第5回 2024年

第5回大会は、オーストラリア、バングラデシュ、日本、マレーシア、ネパール、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、UAE、ベトナム、アメリカ合衆国およびUNOOSA枠の計35か国・地域、約2800人が参加しました。

第6回大会各国国内予選(2025年)

各参加国・地域にて予選大会を終え、代表が決定しました。オーストラリア、バングラデシュ、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、アメリカ合衆国、ベトナム、UNOOSA枠から計3082人が参加しました。



◀国内予選の様子
筑波宇宙センターにて国内予選イベントを行いました。



▲日本代表チーム。次は各国代表と世界大会の舞台上で戦います。応援よろしくね!



◀ビギナーズコースが新設され、多くのプログラミング初心者挑戦しました!



第6回大会決勝(2026年)

第6回大会決勝イベントが2026年2月頃開催される予定です。

特設サイトをぜひご覧ください!

特設サイト

Kibo-RPC
Kibo Robot Programming Challenge
「きぼう」ロボットプログラミング競技会

URL : <https://jaxa.krpc.jp/ja>
E-mail : Z-KRPC@ml.jaxa.jp

